

日本セーフティプロモーション学会誌 執筆要綱

1. 投稿様式

- 1) 論文は MS Word を用いて作成する。使用フォントは原則として日本語は MS 明朝体、英語は Times New Roman とし、文字サイズは 12 ポイントとする。用紙は A4 サイズとし、1 枚あたり 38 字 × 36 行 (1,368 字) を目安とする。余白は標準設定とし、横書きで作成する。本文にはページ番号をフッター中央に配置すること。
- 2) 査読を容易にするため、MS Word の「行番号」機能を用いて、原稿全体の左余白に連続した行番号を付す。
- 3) 英文論文は、フォントを Times New Roman 12 ポイント、行間はダブルスペース、文字は左揃えとし、各段落の先頭は約 1 cm の字下げを行う。その他の記載方法は日本語論文に準じる。投稿前に、英語に十分精通した専門家による校正を受けること。
- 4) 文章は新仮名づかいとし、ひら仮名を使用する。句点やカッコなどの記号は 1 字として数える。外来語は原則カタカナで表記する。人名や地名など、日本語で表記しにくい場合は原綴を用いてもよい。
- 5) 算用数字は、1 桁の場合は全角、2 桁以上および英字は半角を用いる。

2. 論述の形式

1) 著作権移譲承諾書 Copyright Transfer Agreement

全著者が自署した著作権移譲承諾書を 1 枚スキャンして PDF 化し、表紙の前に添付する。

2) 表紙 Title Page

表題、所属、著者名を和文および英文で記載すること。次に、連絡著者の氏名、郵送先住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレスを明記すること。また、希望する原稿の種類および別刷りの希望部数を記載する。

3) 要約 Abstract

- (1) 要約には、序論、方法、結果、考察、結論を、簡潔に記載すること。
- (2) 日本語抄録は 600 字以内とし、原著論文には 400 語以内の英文抄録も付すこと。
- (3) 原著論文の英文抄録は、和文抄録が査読により修正される場合があるため、採択決定

後に作成してもよい。

(4) 英文論文には、文献の後に、日本語による表題、著者名、所属、抄録を記載した和文抄録を付すこと。

(5) 抄録の末尾には、キーワードを 5 語以内で付記し、和文および英文の双方で記載すること。

4) 序論 Introduction

研究の背景および研究課題の重要性を明らかにするとともに、投稿論文の位置づけを整理する。さらに、当該領域における類似テーマの先行研究との比較を通じて本研究の独自性を示し、研究テーマへの取り組み内容について説明する。

5) 方法 Method

(1) 研究デザイン：研究手法、定量的研究または定性的研究などのアプローチ、およびその論理的根拠。

(2) 対象（者）：サンプリング方法、サンプルサイズ、対象者の属性や選定条件など。

(3) データ収集：収集の手続きおよび手順、使用した測定機器やツールなど。

(4) 分析方法：データの処理方法、分析手法、使用した統計ソフトウェアの名称およびバージョン。

(5) 倫理的配慮：研究における倫理的配慮についての記載。

6) 結果 Results

(1) 客観的かつ簡潔に結果を記述する。

(2) 図・表・写真を適切に用い、それぞれの要点を簡潔に示す。

(3) 内容は論理的な順序で構成する。

(4) 記述は過去形で統一する。

(5) 結果と考察は明確に分け、結果には考察を記述しない。

(6) 結果では原則として文献の引用を行わない。

7) 考察 Discussion

(1) 自らの研究結果について考察する。

(2) 先行研究と本研究の結果を比較し、そこから導かれる解釈について考察する。

(3) 先行研究と異なる結果が得られた背景や要因について考察する。

(4) 本研究の結果から明らかになった新たな課題について考察する。

8) 結論 Conclusion

(1) 研究で得られた客観的事実を簡潔に記載する。

(2) 末尾に利益相反 (COI) の有無と有の場合その内容について記載する。

(3) 末尾に助成金等の有無について記載する。

9) 引用文献 References

(1) 文献番号は本文での引用順に, ¹⁾, ^{1,2)}, ¹⁻³⁾ のように上付きの番号で示す。

(2) 文献の記載方法は下記の通りとする。著者が3名を越える場合, 4名以降は「他, (et al.)」と表記する。

雑誌の場合: 著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 巻 (号), 開始ページ — 終了ページ.

【例】衛藤 隆. Safety Promotion の概念とその地域展開. 東京大学大学院教育学研究科紀要. 2006, 4 : 331-337.

単行本の場合: 著者名. 表題. 書名. 編著者. 出版社, 出版年, 開始ページ — 終了ページ.

【例】今井博之. Injury prevention とは? 基本的な考え方. セーフティプロモーション — 安全・安心を創る科学と実践. 日本セーフティプロモーション学会編. 晃洋書房, 2019, 8-17.

インターネットの場合: 著者. 表題. URL (閲覧年月日). URL の下線は削除し、文字色が青色の場合は黒色に変更する。

【例】交通事故総合分析センター. 交通事故死者日報.

<https://www.itarda.or.jp/report> (2021 年 4 月 1 日閲覧)

3. 図・表・写真 Figures, Table and Photograph

(1) 引用文献の後に別ページを設け, 1 ページにつき 1 点を掲載する。図 1、図 2、表 1、表 2、写真 1、写真 2 のように通し番号を付す。説明文 (キャプション) は、図および写真は下部に、表は上部に記載する。

(2) 本文中には、図・表・写真の挿入箇所を明示すること。なお、実際の配置は論文全体のバランスを考慮して決定するため、必ずしも指定どおりの位置に配置されない場合がある。

(3) 図・表・写真は、そのまま掲載可能なように鮮明なものを提出すること。

(4) 図・表・写真を引用する場合は、出典を必ず明記すること。

参 考：法 務 省 ウ ェ ブ サ イ ト の コ ン テ ン ツ の 利 用 に つ い て

https://www.moj.go.jp/hisho06_00280.html

4. 留意点

- 1) 執筆要綱で求められている事項が遵守されているか、提出前に必ず確認すること。
- 2) 引用文献の記載方法、本文中での文献番号の示し方、本文への行番号の付与などが本学会の執筆要綱と異なる場合は、原稿を返却し再投稿とするため、十分留意すること。
- 3) 序論に記載した内容を考察で重複して述べないこと。また、結果の記述中に考察を含めないこと。結論は簡潔に記載すること。

5. 投稿手続き

原稿は E-mail に添付し、編集委員会へ送信する。

(2026 年 4 月 9 日理事会改正承認)